

(様式3) 目的設定表(令和02 年度) 予算区分:通常				要求区分: 令和 2年度 5月補正予算				確定日(令和02 年 05 月 29 日)						
事業コード	03020314			政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略							
事業名	県産花き活用緊急拡大支援事業			施策コード	02	施策名	複合型生産構造への転換の加速化							
				指標コード	03	施策目標(指標)名	秋田のオリジナル品種による果樹・花きの生産振興							
部局名	農林水産部	課室名	園芸振興課		班名	果樹・花き班		(tel)	1804	担当課長名	本藤昌泰		担当者名	太田智
評価対象事業(計画)の内容														
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、式典やイベントの中止が相次ぎ、花きの国内消費が大幅に落ち込んだことから、生産者や流通業者等の経営に深刻な影響が及んでいる。このため、公共施設等において県産花きを展示する取組等により、人の目にふれる機会を増やすことで、消費が減退している県産花きの需要喚起を図る必要がある。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 公共施設等の展示等により需要が減少している県産花きの利用拡大を図るとともに、生産者の生産意欲を喚起し、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準以上に花き販売額を向上させる。 (重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望									
					4. 目的達成のための方法									
2. 住民ニーズの状況 ①ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期: R02 年 04 月) ②ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ③ニーズの具体的内容 生花店からは卒業式や結婚披露宴などが中止となったため、収入が減少したこと、また、生産者からは需要減退により売上げが減少したことなど、経営の継続を心配する声が多かった。					①事業の実施主体 秋田花の国づくり推進協議会									
					②事業の対象者・団体 小中高生、公共施設・交通拠点の利用者等									
③達成のための手段 公共施設でのスタンド花等の展示、交通拠点でのフラワーモニュメント等の展示、結婚式や披露宴を開催できなかったカップル等にフラワーアレンジメントのプレゼント					④比較した代替手段及び選択した手段の有効性 県域団体が国事業を活用して実施する取組への上乗せ支援であるため、県主体で行うよりも円滑な事業実施が見込めるほか、展示する花材として県産花きを効率的に活用できる。									
⑤把握していない場合の理由及び今後の方針														
①理由														
②今後の方針														
5. 事業の全体計画及び財源														
単位(千円)														
順位	事業内訳			左の説明			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画	
01	県産花き活用緊急拡大支援事業			公共施設等における花きの展示やフラワーアレンジメントのプレゼントを行うことにより、県産花きの需要喚起を図る。			2,241	0	0	0	0	0	2,241	
財源内訳		左の説明						2,241	0	0	0	0	0	2,241
国庫補助金								0	0	0	0	0	0	0
県債								0	0	0	0	0	0	0
その他の								0	0	0	0	0	0	0
一般財源								2,241	0	0	0	0	0	2,241

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		本県花き販売額の増加
	指標名	花きの系統販売額
	指標式	県産花きの系統販売額（単位：百万円）
		指標の種類
		● 成果指標
		○ 業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
目標a			2,094					2094
実績b		2,094	②データ等の出典					
東 北		J A 青果物生産販売実績						
全 国								

③把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 05月 ○ 翌々年度 月

指標Ⅱ	指標名								指標の種類
	指標式								☒ 成果指標 ☐ 業績指標
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b			②データ等の出典					
	東 北								
	全 国								
③把握する時期 ☐ 当該年度中 月 ☐ 翌年度 月 ☒ 翌々年度 00月									

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

催事の多くが中止・延期となり、当面の需要回復は見込めないため、公共施設等での展示等の新たな需要を創出することで、より早急な県産花きの需要拡大を図る必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性

催事中止で収入が減少した生花店及びそれに連動して需要が減少した花き生産者、双方の所得向上に結びつき、花き業界全体の支援につながる。

事業の県関与の必要性

☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ☐ 県でなければ実施できないもの

■ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県域団体が国事業を活用して実施する取組への上乗せ支援であり、活動は全県域に及ぶため、県が支援する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
-----------	-----------------------

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
-----------	-----------------------

○重点事業 ○その他